

## えひめ水産イノベーション地域だより

発行：公益財団法人 えひめ産業振興財団  
えひめ水産イノベーション創出地域  
TEL 089-960-1153 FAX 089-960-1105  
E-mail : sakamoto@ehime-iinet.or.jp  
http://www.ehime-iinet.or.jp/inove/

第11号 平成25年11月6日(水)発行

### 11月、そろそろ冬、鍋のシーズンです。

今月7日は立冬。初めて冬の気配が現れてくる日だそうです。そのようなことから「立冬」は、「日本酒がうまい！推進委員会」が身体の芯から温まろうと『鍋と爛の日』に選定しています。

11月の水産篇「今日は何の日」を調べてみました。7日は「ししゃもの日」、釧路地域ブランド推進委員会が『釧路ししゃも』を全国アピールする目的で制定。「いい(11)な(7) 釧路ししゃも」の語呂合わせから。11日は「鮭の日」、大阪市中央卸売市場内の鮭の日委員会がもっと食べてもらいたいとの願いから制定。漢字の「鮭」のつくりを分解すると、十一一となることから。24日は「鯉節の日」、伊予市にある「ヤマキ」が鯉節をもっと知ってもらいたいとの願いから制定。「いい(11)ふし(24)」の語呂合わせから。29日は「いいフグの日」、全国海水養魚協会トラフグ部会が養殖トラフグの美味しさを多くの人に知ってもらう目的で指定。「いい(11)フグ(29)の語呂合わせからだそうです。

皆さん、「今日は何の日か」を思い出して、その日にはそれぞれの水産物を食し、魚食普及に協力をお願いします。**小さなことからコツコツと！**

### 和歌山県における水産調査について

10月7・8日に和歌山県に赴き、調査を行いました。効率的に調査を行うために公用車で出張しましたが、帰路は台風の影響で和歌山・徳島間のフェリーが欠航したため、復路は大阪、淡路島、鳴門を走行しての帰着となりました。

訪問先は4ヶ所で、①近畿大学水産研究所浦神実験場では、熊井英水名誉教授に11月8日の宇和島市で開催する公開セミナーの講師を依頼し快諾を得ました。②和歌山県水産試験場では、中西一場長ほかから、今年度から3ヶ年計画で取組みを開始した「スマ」の種苗生産技術の開発について話を窺いました。③クックスベスト和歌山食品工場では、池畑幹夫社長から工場進出の経緯や地元水産物の加工など6次産業化に関する調査をしました。④わかやま産業振興財団では前田育克PDほかから、地域イノベーション戦略支援プログラムで取り組んでいる「特産農産物を活用した健康産業イノベーション」の話を窺い、推進体制、進捗状況等

について意見交換をしました。



和歌山県水産試験場  
スマの陸上飼育水槽

クックスベストの  
加工場内の様子



### 25年度人材育成講座について

宇和海の水産業の6次産業化を担う人材の育成を目指した「**水産イノベーションスキル修得講座**」の第6回の講座が10月19・20日に宇和島市(愛媛大学宇和島エクステンション)において開催されました。

第6回の講座は鹿児島大学水産学部 教授 木村郁夫氏と愛媛県産業技術研究所 技術開発部長 平岡芳信氏の2氏を招き、「水産加工」をテーマに開催しました。

木村氏は、水産物の乾燥、塩蔵、発酵、缶詰、冷凍すり身等の製造方法・製造工程や医薬品になった水産成分について、平岡氏は地元南予産の地魚を用いた真空包装等の加工品の紹介と「じゃこ天」の製法とその成分変化や嗜好性の推移等の特性について講義がありました。

地域の水産資源を活用し、地域の優位性を発揮する加工品製造に大変参考となる講義でした。

講義終了後は、受講生が個人課題として取り組んでいる「プロジェクト研究」の第2回目の報告がありました。



第6回の講座の様子

### 公開セミナーの開催について

11月8日(金)、宇和島市のサブライムホールにおいて、近畿大学理事・名誉教授を迎え、「漁業資源存亡の機と養殖業」〜クロマグロの完全養殖を中心として〜と題して、えひめ水産イノベーション2013公開セミナーを開催します。